


公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	坂上貴之 	所属	慶應義塾大学文学部
研究集会等名称	第20回行動数理研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 23名 (うち認定心理士 0名) 非会員 6名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>実施内容：以下の内容で研究会を実施した。 日時 9月10日(月)10時より16時10分まで 場所 慶應義塾大学 日吉キャンパス 第8校舎3階831室</p> <p>プログラム (発表時間40分、質疑応答10分) 10:00-10:10 開会の挨拶 午前の部：教育セッション 10:10-11:00 話題提供 佐伯大輔 (大阪市立大学) Visual Basic を用いた選択行動測定プログラムの開発 11:00-11:50 話題提供 八賀洋介 (慶應義塾大学) R を使用したデータハンドリングの事始め 11:50-13:00 休憩 (昼食) 13:00-13:30 ビジネスミーティング 午後の部：講演 13:30-14:20 話題提供 藤巻 峻 (慶應義塾大学) 行動の履歴によるサンクコスト効果の検討 14:20-15:10 話題提供 八木広大 (大阪市立大学) 価値割引の観点から見た利己性とリスク指向性の実験的研究 15:10-16:00 話題提供 丹野貴行 (関西学院大学) 強化頻度と強化スケジュールの機能：The copyist model 16:00-16:10 閉会の挨拶</p> <p>成果と展望：発表内容については同封の報告書に記載してある。今年度から教育セッションを取り入れ、技術的な伝達についても配慮する内容とした。参加する院生や学部生、若手研究者からも多くの質疑が出され、多様な議論がなされた。今後は、周辺領域の研究についても発表を促していきたいと考えている。</p>		